

令和元年度 第2回徳島県企業局「戦略的経営推進委員会」議事概要

1 日 時 令和2年2月26日（水）14時00分～15時00分

2 場 所 県庁6階 企業局会議室

3 出席者 <委員>

濱尾 重忠（座長）（敬称略，以下同）

粟飯原 一平

坂田 千代子

<企業局>

木下企業局長，仁木副局長，片岡次長

大塚総合管理推進センター所長

粟田経営企画戦略課長

坂本政策調査幹

古井事業推進課長

森野施設基盤整備室長

生田自然エネルギー事業化担当室長

4 会議次第

（1）開会

（2）企業局長挨拶

（3）議事

①企業局経営計画の見直しについて

②その他

【配布資料】

資料1 「徳島県企業局経営計画」（見直し案）について

資料2 徳島県企業局経営計画（見直し案）（見え消し版）

資料3 徳島県企業局経営計画（見直し案）

資料4 パブリックコメント実施結果

参考 徳島県企業局経営計画（平成29年3月策定）

5 議事概要

（1）議題1 企業局経営計画の見直しについて

配布資料に基づき，事務局から説明を行い，質疑応答。

<質疑応答>

議題1 企業局経営計画の見直しについて

【委員】

本日欠席されている、眞鍋委員から何かご意見はありましたか。

【企業局】

藍場町地下駐車場の状況がこれから厳しくなるのではないかとということで、更なる取組が必要ではないか、とのご意見をいただいております。企業局としましては、利便性の向上や安全・安心の確保に取り組んで参りたい、と回答させていただいております。

【委員】

17ページ、Society5.0の取組について詳しく教えてください。

【企業局】

17ページのAIトラブルシューティングシステムにつきましては、発電所で過去にトラブルのあったデータを蓄積し、事故が起きたとき、瞬時に運転制御担当者にその内容・対応策を伝えることで、操作の支援を行うシステムを構築しております。具体的には発電関係は平成4年、工業用水関係は平成11年度から登録されており、これまで26年間で蓄積されているデータ件数は約3千件あります。1年に発生するトラブルは約100件あり、それらに対処するシステムとなっております。

また、AI異常予知システムといいますのは、発電所の軸受の振動を計測し、その幅の大小で異常を予知するシステムです。軸受は発電機の運転時には常時振動しており、異常が発生した際はその振動が極端に大きくなるため、それを捉えることで事前または早期に異常を発見することが狙いです。

【委員】

開発への投資は高額と思われませんが、それを回収できるほどの効果が見込まれている、ということでしょうか。

【企業局】

AIトラブルシューティングシステムに用いる事故・トラブルのデータについては、職員が直営で蓄積したものを検索できるシステムを構築し、それで運用いたします。AI異常予知システムについては、センサー等の機器費が1千万円程度、あとは少額の設置費用がかかりますが、事故が起こった際の発電の停止や機器の故障等の損害を未然に防ぐことができる考えると、コストパフォーマンスは非常に良いと考えております。

【委員】

少しの投資で大きな効果が得られる、ということですね。ありがとうございました。

【委員】

水素エネルギー導入に関する取組を廃止することだが、県民環境部との関わりについて教えてください。

【企業局】

水素エネルギーの導入につきましては、マリニピア沖州および和田島太陽光発電所の利益が、予想される利益よりも20%ほど多かったため、そこから積立を行っておりました。その積立が今年度で終了し、その積立金を県民環境部が水素ステーションや燃料電池バス等の導入に使っていくこととしています。企業局としましては、その務めを果たしましたので、水素エネルギー導入に関する取組は廃止となります。

【委員】

水素エネルギーは一般的に先の見通しが難しい。経営戦略で取り組んでおられるが、実際にやるところと知事の思いとの歩調が合っていないのではないかと疑問はありますが、廃止については理解しました。

【委員】

企業局はしっかりと収益を出されているようですが、やはり駐車場が気になります。今後どうなるか、どうしていくのか、不確定なところはあると思います。そごう撤退の影響などもあると思います。

つきましては、特に藍場町駐車場について利用者のニーズ等アンケートを採られたことはありますか。

【企業局】

指定管理者がアンケートを実施しておりまして、利用者の年齢・性別等を記録しています。利用目的として一番多いのがあわぎんホールであり、次いでそごう・アミコとなっております。

【委員】

駐車場には何台駐められるのですか。

【企業局】

藍場町地下駐車場は295台駐車可能です。

【委員】

月極で契約している方はいらっしゃいますか。

【企業局】

月極ではなく、定期駐車という料金設定がございます。

【委員】

やはりそごう撤退の影響は受けそうですね。

【企業局】

懸念しております。昨年7月から休日の駐車料金も上限を千円に設定しておりますが、なかなか難しいところもございます。今後とも、利便性の向上に向けての取組は必要と考えております。

【委員】

空き時間は多いのでしょうか。

【企業局】

夜間は駐車が少なく、空き時間が多くなっています。あわぎんホールでイベントがある時には駐車が多くなります。

【委員】

昼間のみや全日等、いろいろなパターンを作って定期駐車の数を増やすと安定するのではないのでしょうか。

【企業局】

定期駐車料金設定につきましては、きめ細かく定めており、おっしゃいましたとおり、全日や時間帯ごとの設定もでございます。

【委員】

台風19号の映像を見ましたところ、高い防潮堤を越えるような洪水があったようですが、太陽光発電所に被害はありませんでしたか。

【企業局】

台風による大きな被害はありませんでした。

【委員】

高潮と重なり、他のところでは大きな水害があったようですが、企業局は無事だったということは、太陽光発電所は高所にあるということですね。

【企業局】

暴風によりエアコンの室外機が故障したという話はありませんでしたが、設備そのものに被害はありませんでした。

【委員】

10ページの長期収支計画ですが、平成29、30年度は実績値が書かれているのでしょうか。

【企業局】

平成29、30年度は決算額、令和元年度は予算額を記載しております。

【委員】

これの実績の純損益を見ると、結果的には利益が出ているようですが、計画は少なめになっています。実際は計画よりも実績が出ると見てよろしいでしょうか。それとも、いろいろと投資があって純損益が大きく減る見通しとなっているのでしょうか。

【企業局】

予算につきましては、積算もありますが安全面を見て組んでおります。その結果、決算時には不用があったり、繰り越しが出たりなどといったことがあります。例年、予算時は純益を厳しめにとっておりますが、決算時には少し伸びる、といった形になっております。

平成29年度の純損益に比べて30年度の純益が下がってきておりますが、これにつきましては、各事業について設備が老朽化しており、修繕工事を行っております。使用年数が60年を越す設備も多く、修繕費用もさることながら、減価償却も発生します。したがって純益も下がりますので、平成29年度ほどのものは今後も難しいですが、赤字経営とならないように努めて参ります。

【委員】

計画は厳しめに見ているが、実際の決算時にはこれよりも良くなるだろうと想定しているということですね。

【委員】

工業用水を利用している事業者の数について、残念ながら稼働しないところが出てくるなど、将来に向けて懸念・予測はどのようになっているのでしょうか。

【企業局】

現状から申しますと、吉野川北岸工業用水道は22事業者、阿南工業用水道は11事業者ございます。給水能力に対する契約水量は、吉野川北岸については約60%台、阿南については約80%台と、余裕のある状態です。今のところ、各ユーザー様から利用を取りやめる、事業の廃止、使用水量の減量などといった話は聞いておりません。

ただし、施設の老朽化などもあり今後の経営が厳しい見通しとなっておりますので、新規ユーザーの獲得や増量に取り組んで参ります。

【委員】

阿南は一時期渇水に苦しんだが、今はそのような懸念はありませんか。

【企業局】

ほぼ隔年で漏水は発生しており、その懸念はなくなりません。地下水送水設備を運用して対応しております。

【委員】

駐車場事業の長期収支計画では、令和3年度以降の事業収益が一定となっておりますが、そごう閉店後、売り上げはどうしても落ちていくと思われれます。売り上げが下がった際の見通しは何か持っておられますか。

【企業局】

現状から申しますと、指定管理者から固定納付金をいただいております。ただし、こちらにつきましても設備の老朽化がございますので、特に今年度、来年度は大規模な修繕工事がございます。それ以降はしばらく大きいものはありませんが、やはり増収も見込めない状況ですので、環境を整備し利便性を向上し、今後は料金体系も見直すべき時が来ているのかと考えております。

【委員】

料金体系を見直すと売り上げを減らす要素を多分に含むことになるので、経費を下げる方向で考えたいですが、指定管理者制度をとっているのです、むやみに下げれば良いというものでもないでしょうね。

【企業局】

必要最低限のメンテナンスは実施しなければならないので、単純な費用削減は厳しいものとなります。

【委員】

松茂駐車場の方については、明るい話題はありませんか。

【企業局】

松茂駐車場は駐車台数が堅調に推移しております。また、来年度にはキャッシュレス決済も導入する予定です。

【委員】

SDGsに対応した表記があるのは良いと思いますが、対応しているのは第2章まででしょうか。計画全体には対応していないのでしょうか。

【企業局】

取組に対する対応状況ということで、今のところは第2章までとなっております。

【委員】

例えば他の大企業の計画ですと、すべての事業についてSDGsのどれに対応しているか明確に設定していたりします。

【企業局】

それぞれ3つの経営目標につきまして、何かは対応しておりますが、やはり偏在しているとは思いますが。

【委員】

そこはまた検討していただければと思います。

【座長】

経営計画を見直して、非常に良いものになっていると思います。今日の委員会も踏まえまして、改めて検討していただければと思います。

【座長】

その他には質疑なしということでよろしいでしょうか。

【各委員】

了承

議題2 その他

※質疑無し